

光る風



兵庫県立ひょうごこころの医療センター

〒651-1242 神戸市北区山田町上谷上字登り尾3

TEL (078) 581-1013 (代表)

(078) 940-5510 (地域医療連携部直通)

FAX (078) 581-1005

URL <https://hmhc.jp/>



社会復帰棟

✦ 着任のご挨拶

✦ 地域ケア部のご紹介

✦ 薬剤部のご紹介

✦ 認定看護師コラム

✦ 栄養士おすすめレシピ

✦ シンポジウムを開催しました

✦ 外来診療のご案内

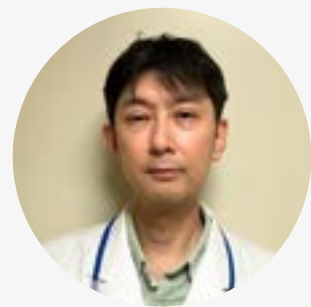
✦ 交通のご案内



令和6年11月より地域ケア部長として着任した、大山朗宏と申します。

私は1993年に精神科医になり、研修医の2年目を当センター（旧光風病院）で学ばせていただきました。当時は古い木造の建物が残っており、病棟や職員食堂、そして作業療法棟として使われていました。患者さんが粘土で焼き物を作っていた風景が思い出されます。

現在デイケア、病棟では作業療法、レクリエーション、生活スキル向上など様々なプログラムが行われています。今後さらに患者さんそれぞれに合った質の高いものとなるよう努力していきたいと思います。よろしくお願いいたします。



地域ケア部のご紹介

地域ケア部は、作業療法科、デイケア科、外来療育科にて構成されています。入院中は早期から精神科作業療法を開始し、速やかな社会復帰や社会参加を目指して支援を行なっています。退院後も、外来での通所やデイケアなど幅広い精神科リハビリテーションを実施しています。

精神科作業療法

精神障害の方に対するリハビリテーションのことです。生活のしづらさがある方に対し、作業活動を通じてリハビリテーションを行ないます。その人がその人らしく生活できるよう病状や環境、希望に合わせて個別性を重視した作業療法を行なっています。



デイケア

デイケアは集団療法を中心としたリハビリテーション活動のひとつで、多種多様なプログラムを通じて一人一人にあった社会参加をめざすところです。利用者それぞれの希望を尊重し、目的に応じたプログラムが選べます。



外来療育

発達に特徴のある小中学生を主な対象とし、生活のしづらさや集団へのなじみにくさなど、抱える悩みを軽減するための支援を行う部門です。SST（ソーシャルスキルトレーニング）、運動遊び、読み書き・聞き取りの練習などのプログラムがあり一人一人のニーズに沿うものを実施します。



患者さんが作った作品です。
信頼関係を築き、安心できる場を提供し、作業活動を通して患者さんの自信や能力を取り戻せるように、これからも支援していきます。



精神科医療における薬剤業務の進展

風光明媚なこの地での勤務も丸4年が経とうとしています。赴任当初はコロナ禍でもあり、感染対策と共に次々と承認された「コロナ治療薬」を院内で安全に使用できるよう取り組みました。

その後コロナ禍を経て患者様も増加していく中で、令和6年度には正規職員が5名へ増員となり、精神科医療における薬物療法支援として薬剤師業務の進展を図りました。

●病棟薬剤業務●

病棟ごとに担当薬剤師を配置し、持参薬の確認・代替薬提案、処方確認・検査値確認、医師への処方提案・検査提案、患者様への薬剤説明、効果・副作用確認、病棟薬品管理等を行っています。令和6年度より、病棟薬剤業務にかかる時間を大幅に増加させました。

「病棟薬剤業務実施加算」診療報酬算定体制 令和6年度に開始しました。

薬剤師が病棟で医療従事者の負担軽減及び薬物療法の有効性、安全性の向上に資する業務を実施していることが評価されたものです。

●調剤時の処方監査●

調剤室にて処方箋を発行する際は、電子カルテ等により患者背景（腎機能・肝機能、既往歴・アレルギー歴、心電図異常等）や処方意図に適した用法用量であることを確認しています。また、調剤室と病棟担当薬剤師が連携し、情報共有を図っています。

薬剤の適正使用推進（病棟・調剤室にて）

LAI（持続性注射剤）

統合失調症治療に用いられ、1回の筋肉注射で数週間にわたり効果が持続します。開始時の投与量・投与基準、開始後の投与間隔、併用薬の確認をしています。

▼ 病棟カンファレンス ▼



CPMS（クロザリル患者モニタリングサービス）

治療抵抗性統合失調症治療薬クロザリル使用患者に対し、好中球減少症や耐糖能異常等の早期発見・早期対処のため、検査値・検査頻度、投与量等を確認しています。

ECT（電気けいれん療法）

脳のけいれんを誘発させるうつ病や統合失調症等の治療法で治療開始前に中止が推奨される薬剤の確認、施行時に使用する筋弛緩薬や鎮静剤の管理・払出・回収を行っています。

薬剤提案

薬剤の血中濃度推移を元に、処方薬の調整や患者様への説明方法について提案し、検討しています。



検査提案

抗精神病薬等による副作用を考慮し検査依頼をしています。

- ・プロラクチン
- ・アンモニア
- ・心電図 等

血中濃度測定も依頼します。

「精神科薬物療法認定薬剤師」南野 希



この度、兵庫県立病院で初めての認定を取得しました。精神科において患者様へ安心・安全かつ有効な薬物療法を提供できるよう努めてまいります。

薬剤部では他にもチーム医療活動や患者教室、薬事委員会での採用薬の選定等、多岐に渡る業務の中、安全に効果的に薬剤が使用されるよう日々努めています。





認定看護師
コラム

「ひかりの会」における地域とのつながり
～出会いとつながりを大切に～



精神科認定看護師 西川 智

精神科認定看護師の資格を取得してから、今年で10年になります。その期間の活動の一つに、神戸市北区精神障がい者に関する地域連絡会議（「ひかりの会」）の運営があります。

「ひかりの会」では2016年から当センターが主体となり、地域の支援者と2カ月に1回会議を行っています。その会議の中では、当センターと地域支援者と連携した症例の事例検討会、当センターの医師・薬剤師を講師とした勉強会、外部から講師を招き地域活動の報告会等、その内容も多岐に渡ります。2022年にはピアサポーターの方に活動報告をして頂き、その後も職員向け院内研修会でピアサポーター活動を伝え、職員とピアサポーターが、語り合う場を設ける等、ピアサポーターとの連携にも力を入れています。

今後も、精神科認定看護師として、地域支援者との出会いを大切にし、つながりの輪を広げる一翼を担うことで、精神障がい者の方が安心して暮らせる地域作りにつながると考えています。



栄養量（1人分）
エネルギー：60kcal
たんぱく質：3.7g
脂質：2.4g
食塩相当量：0.4g



じゃがいものツナ炒め



手に入りやすい食材で手軽に作れます。じゃがいもは火が通りやすいように先に加熱しておくのがポイント。お弁当のおかずにもおすすめです。

材料（4人分）

- ・卵・・・・・・・・・・・・・・・・1個
- ・(A) しお・こしょう・・・少量
- ・サラダ油・・・・・・・・・・・・小さじ1/2
- ・ツナフレーク水煮・・・・・・30g
- ・じゃが芋・・・・・・・・・・・・中1個半
- ・玉ねぎ・・・・・・・・・・・・1/6個
- ・パセリ・・・・・・・・・・・・少量
- ・(B) しお・こしょう・・・少量
- ・にんにく（チューブでも可）
・・・・・・・・・・・・・・・・少量
- ・サラダ油・・・・・・・・・・・・小さじ1/2
- ・コンソメ・・・・・・・・・・・・小さじ1/2

作り方

- 1 じゃが芋は3cm程度の短冊切りにし、耐熱容器に入れラップをかけ電子レンジで2分（600W）加熱する。
- 2 玉ねぎは繊維にそって細切りにする。
- 3 ボウルに卵をとき、(A) のしお・こしょうを加える。
- 4 フライパンに油をひき、③を入れ、炒り卵を作って取り出す。
- 5 フライパンに再度油をひき、刻んだにんにくと②の玉ねぎを加えて炒める。
- 6 玉ねぎが透明になってきたら、ツナフレーク水煮と①のじゃが芋を加え炒める。
- 7 (B) のしお・こしょう、コンソメを加え味をととのえる。
- 8 ④を加えてさっと混ぜ、火をとめる。
- 9 お好みでパセリを散らしてできあがり。





令和6年度「子どもの心の診療ネットワーク事業」

シンポジウムを開催しました



令和7年1月18日（土）13時から、「がんばらなくてもいいよ」～つまりきをもつ子どもたちへ～をテーマとしたシンポジウムを、神戸市中央区の兵庫県看護協会（ハーモニーホール）で開催しました。医療や教育といった多様な場で活躍されている外部講師4名の先生をお迎えし、県民をはじめ医療・教育、行政関係者ら360名の方が参加しました。

冒頭、座長で当センターの田中院長が開会の辞を述べました。

子どもたちへ「十分がんばっている」「もうがんばらなくてもいいよ」と伝えたい時があります。子どもたち、一人一人の心の中に大切にすることがあり、それを丹念に探していくことが大切だと思います。そのようなことを一緒に考えたいと思い、このテーマにしました。子どもたちをどのように応援していけば良いか、皆様と一緒に考えていきたいと思っています。

※講演内容を一部抜粋

講演1 青木 省三 先生（慈圭会精神医学研究所 所長）

「旅」「家族」「街」「学校」には、潜在的に人の心に灯をともし力があります。自分の居場所を見つけ、楽しいこと、面白いこと、新しい世界を体験した時に、自分なりの道を見つけ、人生の難所に居る子どもたちの心に灯がともり、乗り越えていけるのではないかと感じています。

講演2 本田 秀夫 先生（信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 教授）

みんなと違うということは、別に悪いことではありません。他の人と違う“違和感”を感じる部分にこそ、自分らしさが隠れています。その違和感を尊重し、自分は自分で良いと思えるように、後押しすることを心がけています。

講演3 松尾 薫 先生（神戸市立山田中学校 教諭）

中学生は頑張らないといけないことを良く分かっています。「がんばらなくてもいいよ」と言われても、頑張らないといけないと思っています。子どもたちが、一人で出来ないときには、「頼っていいんだよ」という言葉掛けが必要で、私は、子どもたちが頑張るエネルギーを充電できる居場所でありたいと思っています。

講演4 梅原 愛実 氏（生野学園 保護者）

親子だからといって同じ人間ではないし、考え方も違います。分かっているつもりでいても、自分の理想を押し付けて期待していました。ありのまま受け入れるということは、難しいことだが子どもの苦労や経験もありのまま受け入れ、子どもにとっての「幸せの形」を見つけてくれることを願っています。



公式

SNS
をはじめました！

当センターの紹介や主催セミナー等の情報を発信します。フォローをお願いします。



@hmhc_

FOLLOW ME



外来診療のご案内

※休診日：土・日曜日・祝祭日及び年末年始

- 初診外来は予約制です。初診をご希望の方は地域医療連携部にお電話ください。
- 初診予約受付時間：平日9：00～17：00
- 地域医療連携部直通：078-940-5510

一般成人外来

令和7年3月

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
1診	置塩		田中		見野		青山		田中	
2診			担当医		担当医		担当医		担当医	
3診	小田		小田				小田		米村	
4診	木下		植田		曾我		葛山		酒井	
5診	轟		中井		石橋		置塩		北島	
6診	茂木		榎本				和田		堀本	
7診	吉川		佐藤		久保井		真殿		小林あ	
8診	大山		袋井	持田	関口		米村		袋井	
9診	丸田			小林あ	金田				佐武	

児童思春期精神科外来

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
1診		米村	松尾			田中	渡邊		和田	
2診			酒井		尾崎				緒方	
3診			丸田				緒方		榎本	
4診			竹中		茂木		小林み		土居	



交通のご案内

※できるだけ公共交通機関をご利用ください。



【電車でおこしの方は】

- ▶ 阪急・阪神・ポートライナー・JR三宮駅より市営地下鉄にのりかえ、谷上駅下車、徒歩8分
- ▶ 神戸高速鉄道・新開地駅よりのりかえ、神戸電鉄・谷上駅下車、徒歩8分
- ※神戸電鉄・市営地下鉄線谷上駅とひょうごこころの医療センターの間で患者送迎バスを運行しています。



※送迎バスの時刻表は、QRコード↑でご確認ください。

【お車でおこしの方は】

- ▶ 病院敷地内に無料の外来駐車場がありますが、台数に限りがあります。

『人としての尊厳を大切に、誰もが安心できる医療を提供します。』

